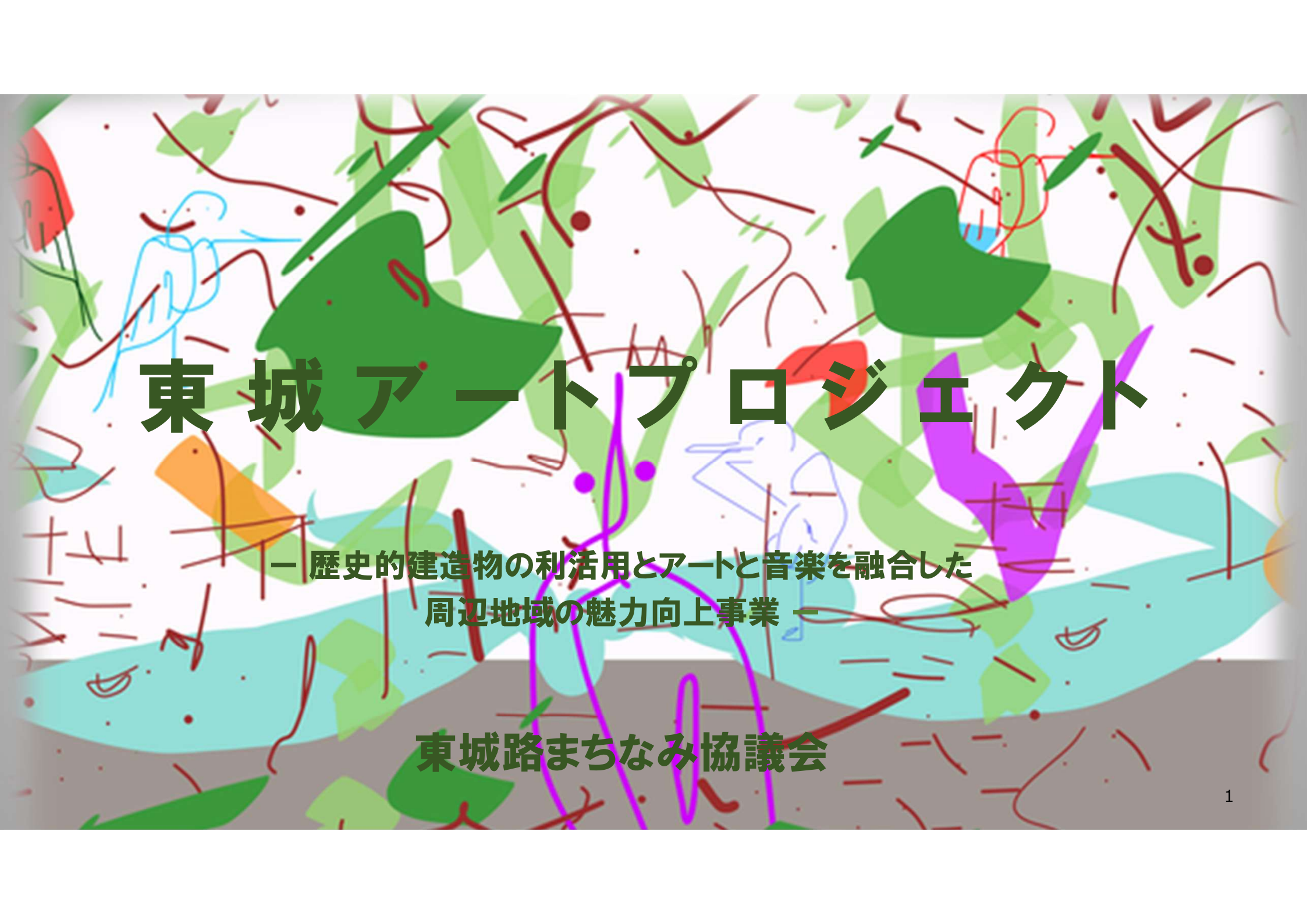




東城アートプロジェクト

— 歴史的建造物の利活用とアートと音楽を融合した
周辺地域の魅力向上事業 —

東城路まちなみ協議会

団体 概要

・地域自治会等活動団体
(まちなみ保存振興会など)

・地元の専門的グループ
(東新会：建築系など)

・協力者
(学識経験者等各種専門家
地元活動団体・グループ)



東城路まちなみ協議会とは？

2017年「地域団体として設立」

- 市民が主役となり街道東城路周辺地区の魅力ある街道づくりを進め、にぎわい創造を目指すことを目的とする。

● 歴史部会

- ・東城の歴史適背景を踏まえた活動に取り組む。

● 景観部会

- ・町並みの景観についての助言及び景観形成活動に取り組む。

● 防災部会

- ・平成30年7月の豪雨災害を受け、安心安全なまちづくりに向けて取り組む。

事業：アートと音楽と歴史的建造物を融合させるまちづくり

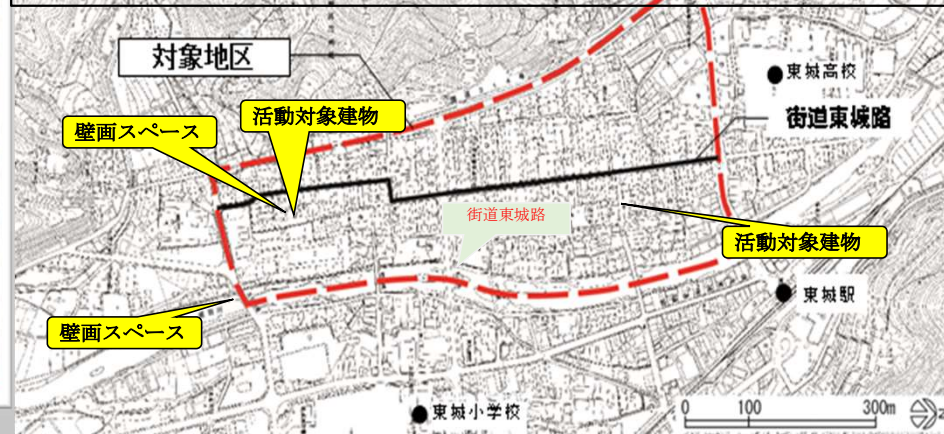
活動地域：広島県庄原市東城町「夢街道ルネサンス街道東城路」周辺



中国地方の真ん中に位置し鳥取県と岡山県の県境にあります。室町時代より「まち」が形成され始め、江戸時代初期より城下町の町割りが整備され、古い商家・町屋が残り小路のある歴史ある街並みが残っている。又、地域の山で採取された鉄の集散地として栄え、河川による船便の中継地・宿場町でもあった。

しかし現代の車社会の利便性により、この古い街道と並行した、国道バイパス延伸など道路工事などの影響で、建物の立退きも進み、自然環境の悪化も進み、まちの空洞化、若者の流失、住民の高齢化による空き家・空き地の増加等、住環境の変化によりコミュニティの衰退が著しくなっている。

また、古くからの人の繋がりが気薄になったり町並み景観構成も壊れつつあり、この地域はコミュニティの再生をするべき地域である。



目的

・町内に点在する歴史的建造物の利活用や壁画創作などアートと音楽を融合させ地域のエリアリノベーションに取り組み、関係人口でもある大学などと地域コミュニティの活性化と創造性を高めることを目的としました。

地域住民と



広島市立大学芸術学部と



大正大学地方創生学科と



広島県立大学庄原キャンパスと



事業概要

－ アートと音楽と歴史的建造物を融合させる
まちづくりに取り組みました －

・歴史的建造物利活用

2024年12月「国登録有形文化財」に登録されました。

：4月より、都市部の大学や地域と利活用に向けたワークショップを実施しました。

建物を多様性が融合できる地域コミュニティの場として利活用を進めました。

また、2025年9月より近隣の築70数年の木造3階建て空き家の利活用も進めています。

・壁画プロジェクト（誰もが描ける体験壁画）

：ルネサンス街道「街道東城路」に並行した国登録有形文化財ヤマモト工場群の一部の塀「体験壁画スペース」で4月～12月にかけて、地元アーティスト、住民、地元小中高校生、来訪者、一般で壁画を描き街並みのエリアリノベーションを進めています。

歷史的建造物利活用

5

：国登録有形文化財登録 「2024年12月登録」



① 歴史的建造物利活用 : 建物を多様性が融合できる地域コミュニティの場としての利活用

ー アトリエ・ギャラリー・ワークショップ会場ーとして活用ー



アトリエ
・ギャラリー



ワークショップ
会場



リノベーション
作業



① 歴史的建造物利活用

： 定期的活用 — 音楽カフェ・飲食店・ワークショップ会場等 —



① 歴史的建造物利活用

：定期的活用 — 音楽カフェ・飲食店・ワークショップ会場等 —



♪ 月イチ有栖 ♪
次回 7月12日
(土曜日)



① 歴史的建造物利活用



: 国登録有形文化財登録
「2024年12月登録」



ヘリテージマネージャー調査

文化庁調査官現地調査

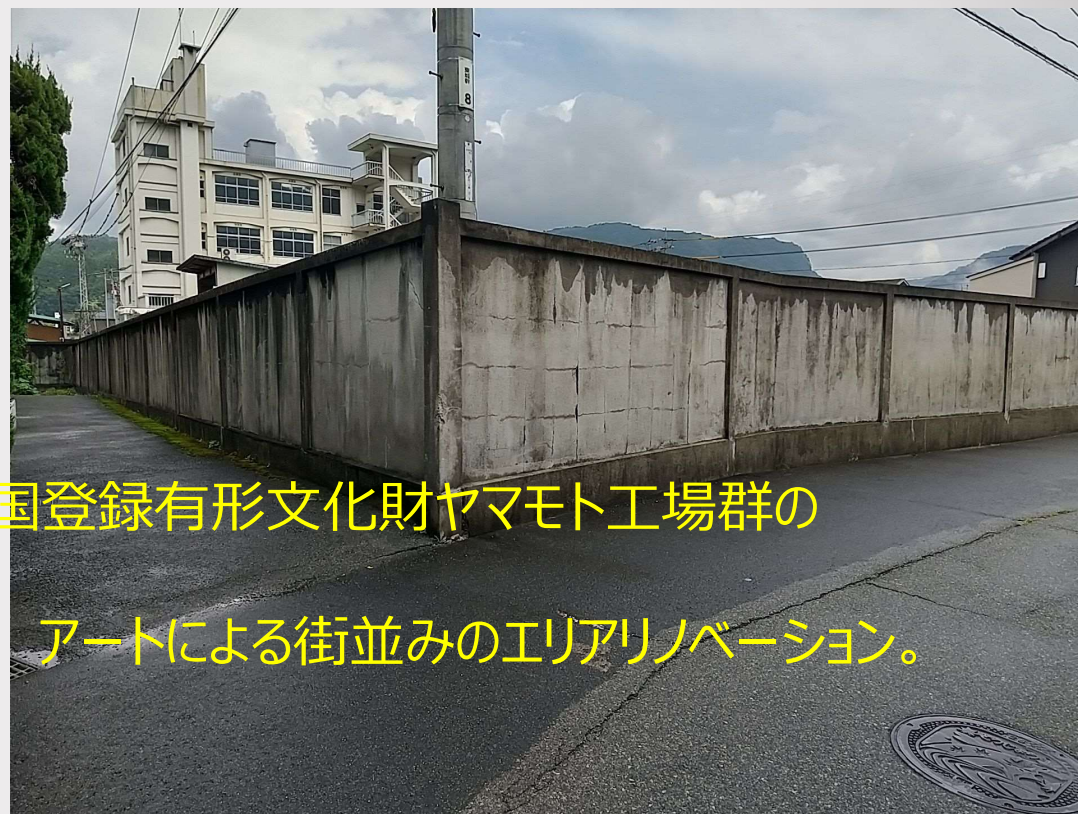
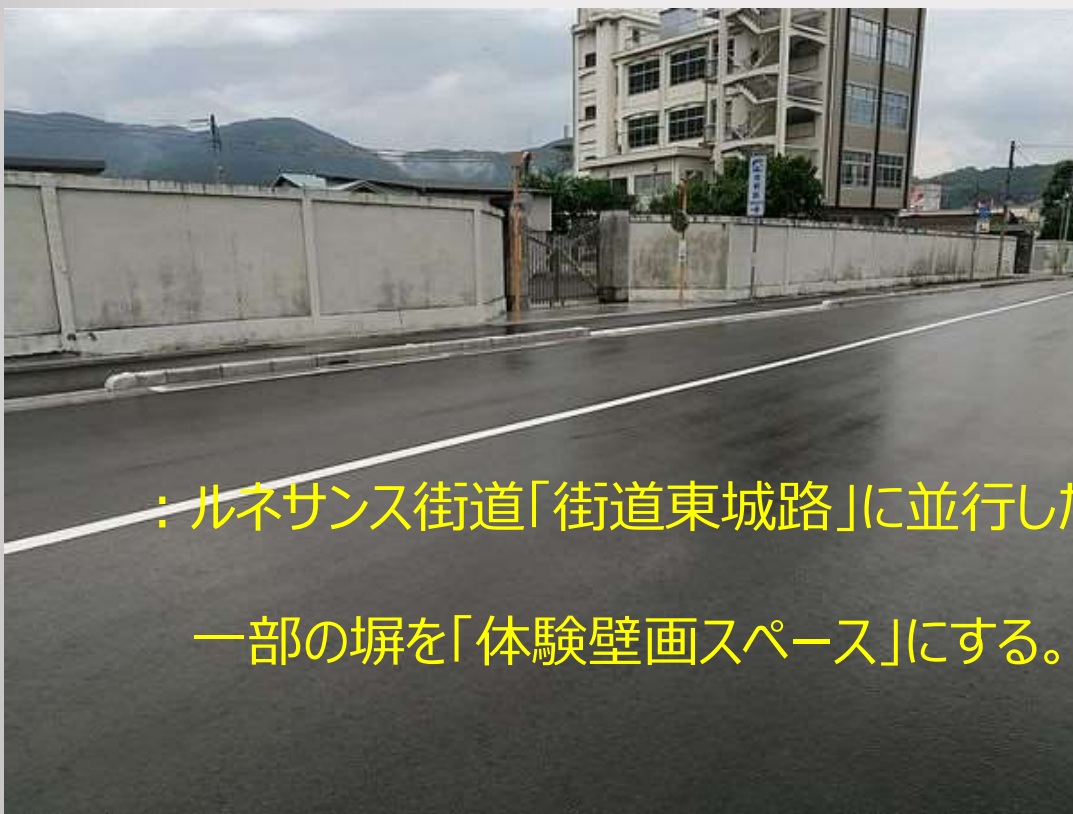


－ アートと音楽と歴史的建造物を融合させるまちづくり －

壁画プロジェクト

：ルネサンス街道「街道東城路」に並行した国登録有形文化財ヤマモト工場群の
一部の塀を「体験壁画スペース」にする。

アートによる街並みのエリアリノベーション。



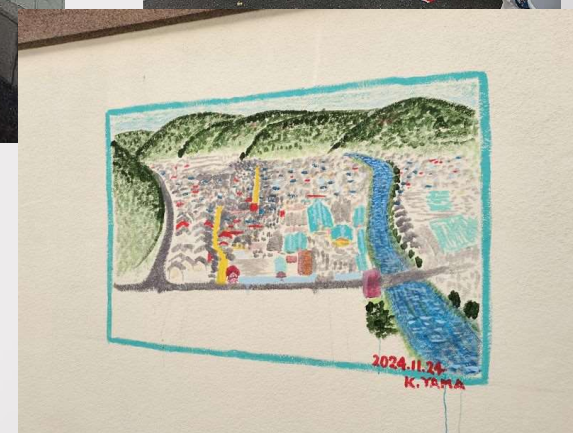
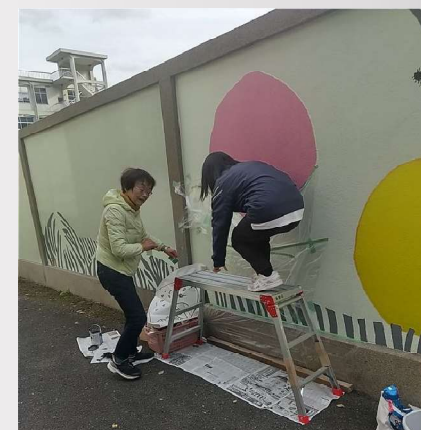
壁画プロジェクト

：「国登録有形文化財」ヤマト工場群の壁画 による街並みのエリアリノベーション。



壁画プロジェクト

：「体験壁画スペース」にてアートによる街並みのエリアリノベーション



壁画プロジェクト

：「体験壁画スペース」にてアートによる街並みのエリアリノベーション。



事業：アートと音楽と歴史的建造物を融合させるまちづくり

歴史的建造物利活用

：2025年7月～発見！！

まちなかの築70数年経過した

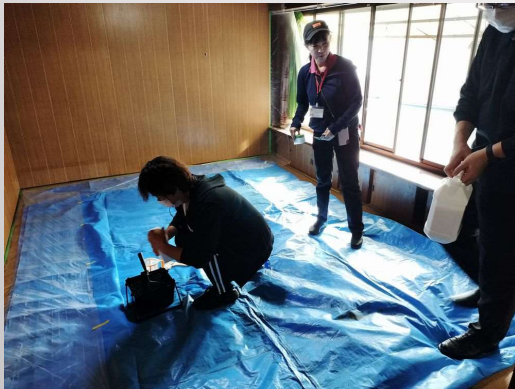
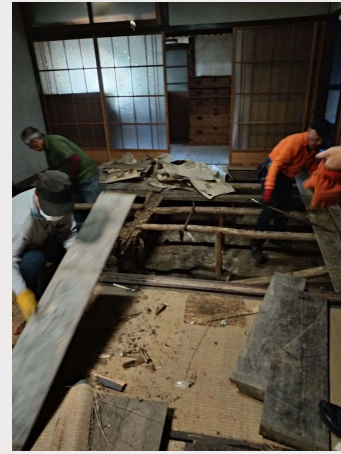
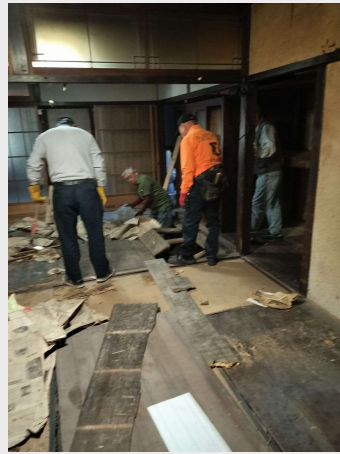
木造3階建て空き家の利活用



歴史的 建造物 利活用

2025年9月～まちなかの築70数年の木造3階建て空き家の利活用

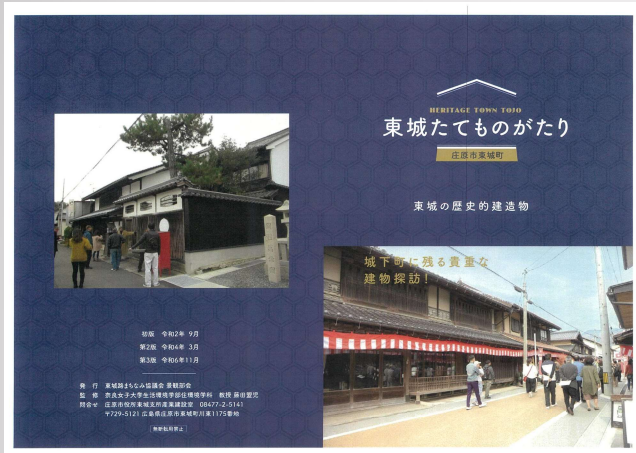
ひたすら不用品を処分する(;-A) 解体する 💧💧💧



ひたすらペンキを塗る 💧💧💧



建物紹介冊子を片手に・まちを楽しむ まちを歩き・建物を見・つまみ食いをし 歩く！



事業の効果

今回の歴史的建造物の利活用、アートや音楽を通じたまちづくり活動を通じて、行政とも連携することが出来、都市部の大学や地域の大学など、新たにコミュニティの**関係人口も増える**効果が期待できた。

また歴史的建造物にてワークショップや利活用に取り組んだことで、活用建物が国登録有形文化財に指定されるなど素晴らしい効果が表れた。

・新たな歴史的建造物の**利活用相談**などにも繋がるなど効果もあらわれた。

・アートを通じた**創造的活動**により地域景観の向上が図れた。

今回の活動を実施することで、「まちのコミュニティ」に**化学反応**が起きる効果が期待できた。

今後の活動予定

① 歴史的建造物利活用

継続的な利活用を進める。さらに令和6年7月「国登録有形文化財」として登録されたのを期に文化財としての価値を付加した利活用を進めていく。

② 壁画プロジェクト

引き続き壁画に取り組みアートによる街並みのエリアリノベーションを進める。

③ 空き家リノベーション活用（継続事業）

木造三階建て空き家は、リノベーションを進め、利活用を進める。

新たな空き家は「ゲストハウスとしての利活用を進める。」

④ 芸備線のあり方を協議する「芸備線再構築会議」で立ち上げられた、ワーキンググループの一員として芸備線存続に向けた、「まちづくり」を企画実践する。

「まちに挑戦して・仕掛けていく」



三楽荘
国登録有形文化財

ヤマモト
ロックマシン
旧本社事務所
国登録有形文化財

国登録有形文化財
ヤマモト
ロックマシン
工場建物群

国登録有形文化財
ヤマモト
ロックマシン
旧自治寮建物群

ご清聴ありがとうございました

次回 ♪ 月イチ有栖 ♪
7月12日（土曜日）